

認知神経心理学チュートリアル（第1回）

「読み障害の診断 — 深層失読、音韻失読、表層失読 —」

日時： 2008年3月16日（日）

場所： 筑波大学 東京キャンパス大塚地区 G501 教室（定員 100名）

（地下鉄丸ノ内線：東京駅→茗荷谷 12分、徒歩 2分）

http://www.tsukuba.ac.jp/access/otsuka_access.html

プログラム

9:30-11:40 読み研究の基礎知識

9:30-11:00 ①漢字単語・かな単語の読み一貫性と、親密度、頻度

近藤 公久（NTTコミュニケーション科学基礎研究所）

11:10-11:40 ②単語の心像性

佐久間 尚子（東京都老人総合研究所）

12:40-14:40 失読の診断法 — どのような検査を使うか —

伏見 貴夫（北里大学）

14:50-15:50 日本語話者における失読症例の臨床像

新貝 尚子（関東病院）

参加費： 会員 5,000円 非会員 6,000円

会員登録： <http://www2.tmig.or.jp/CNP/menu/menu13.htm>（会費無料）

申し込み期日： 平成 20年 2月 29日（金）（定員になり次第、締め切らせて頂きます）

申込先・問い合わせ先： cnpstutorial@gmail.com

または Fax: 029-853-3978 筑波大学大学院 人間総合科学研究科 宇野研究室

名前、所属、連絡先（電話番号、メールアドレス、FAX など）をご記載ください。

近年、深層失読、音韻失読、表層失読、純粹失読に関する報告がわが国においても増え、漢字単語、仮名单語、非語などの誤読パターンが明らかになってきています。また、発達性ディスレキシアについても、そのほとんどが音韻失読か表層失読に分かれることが最近知られてきました。本チュートリアルでは、①失読の診断に必要な基礎知識、②本邦・諸外国における失読症例の review、③市販されている検査や、発表されている検査を使った診断法について、認知神経心理学にたずさわった臨床家・研究者がわかりやすくお話しします。

認知神経心理学研究会では、今後、「失語（語彙、深層失語、音韻失語、表層失語）の診断法」、「失読、失語の認知モデル」、「発達性言語障害（SLI、発達性ディスレキシア）」ほかのチュートリアルや、臨床や研究のための、「単語データベースを使う」、「どんな統計手法を使えば良いのか—臨床に添って—」ほかの実践的チュートリアルを半年毎に開催していく予定です。

認知神経心理学研究会ならではのチュートリアルにぜひご参加下さい。

主催： 認知神経心理学研究会 <http://www2.tmig.or.jp/CNP/WWW.html>

チュートリアル実行委員会 委員長 宇野 彰（筑波大学）

吉野 眞理子（筑波大学）・金子真人（帝京平成大学）・春原則子（目白大学）

近藤公久（NTTコミュニケーション科学基礎研究所）・伏見貴夫（北里大学）

佐久間尚子（東京都老人総合研究所）・辰巳格（LD・Dyslexia センター）